

役員立候補者等 公示

立候補役員名	全道理事						
(ふりがな) 氏名	はやし とみこ 林 富子	性別	男 ⊗女	生年月日	西暦 1968年1月1日	年齢	47歳
勤務先名	社会福祉法人千歳市社会福祉協議会 千歳市介護予防センター						
会員番号	616	市町村	千歳市				
主な活動歴	<ul style="list-style-type: none"> 北海道社会福祉士会理事 2009～2010年 ケアマネジメント委員会担当 2011～2012年 ぱあとなあ担当 2013～2014年 障がい者等地域生活支援委員会担当 権利擁護活動 2012年～「札幌市高齢者虐待等対応専門職チーム派遣事業」専門職登録、派遣 補助人(終了)1人、任意後見監督人(終了)2人、保佐人(現在)1人 						
立候補理由・ 抱負	<p>理事としてケアマネジメント、ぱあとなあ、障がい者等地域生活支援を担当してきました。本業では、地域包括支援センター、通所介護を経て、2014年度より千歳市の介護予防事業を担うセンターで勤務しています。社協職員として介護予防事業を通じた住民主体の地域づくり、地域における人間関係の再生が課題と考えております。現在担当している「障がい者等地域生活支援委員会」は、障がい者等の地域生活支援の推進を目的としており、社会福祉士会としては、障がい分野で活動する会員等の支援、障がい者マネジメントと権利擁護を結びつけること、虐待への対応などを検討し、事業をすすめていく予定です。人の権利を護るためのソーシャルワーク実践を担う専門職である社会福祉士として、微力ではありますが、これまでの経験を活かし、北海道社会福祉士会の運営および会員への貢献ができればと考え立候補いたします。</p>						
推薦者-①	岡田 直人	会員番号	1790				
推薦理由	<p>林富子さんは、北海道社会福祉士会の理事を4期務められてきました。その間、ケアマネジメント、成年後見、高齢者虐待対応、障がい者の各領域で重責を担ってこられ、実績を残されてきました。そして、ご本人は、いま担当されている障がい者等地域生活支援委員会の虐待対応専門職チーム派遣等において継続的な課題をやり遂げたいとの思いをお持ちです。その思いを成し遂げていただきたいと考え、ここに林富子さんを次期全道選任理事に推薦させていただきます。林富子さんは、関西のご出身ですが、介護保険制度以前から北海道に移り住み、現在まで千歳市を拠点として、主に在宅福祉の分野で活動されてきました。現在は、介護予防活動を通じてコミュニティソーシャルワークを展開されています。北海道をよく知り得る立場となったヨソ者としての役割に、全道選任理事においても期待しております。</p>						
推薦者-②	小玉 あけみ	会員番号	20421				
推薦理由	<p>林氏は、2009年に理事に就任以来、ケアマネジメント委員会、ぱあとなあ北海道、障がい者等地域生活支援委員会を担当する他、2012年からは、札幌市高齢者虐待等対応専門職員チーム派遣事業における専門職チームに登録し各地域に出向くなど、多様な分野で専門職としての力を発揮し活躍されています。また、職歴では、1997年に千歳市在宅介護支援センターのソーシャルワーカーとしてスタートし、2006年に千歳市地域包括支援センター長、2012年にデイサービスセンター長、社協との統合後の2014年には千歳市介護予防センター長として事業をけん引し、管理職、コミュニティワーカーとして日々地域づくりに奔走しており、他の職員の模範となっております。今後も、上記の経験と実践を北海道社会福祉士会の理事として発揮していただきたく、林富子氏を次期全道選任理事に推薦します。</p>						
推薦者-③	米沢 晴美	会員番号	10790				
推薦理由	<p>林氏は、長年、在宅介護支援センター、地域包括支援センター、通所サービス事業所等、現在は介護予防センターにて相談援助支援および多くの高齢者の自立支援に取り組んでおられます。専門知識と技術をもって福祉に関する相談援助を業とする社会福祉士として今後も地域の中で役割を果たしてくれることと思われまます。そして、専門職能集団である北海道社会福祉士会においても中心的役割を担ってくれることを期待します。</p>						